



2016年7月発行  
 生徒数 865名  
 (6月現在)

発行/明石市立二見中学校PTA  
 編集/PTA広報部  
 〒674-0094 明石市二見町西二見594  
 TEL078-918-5930  
<http://scwww.edi.akashi.hyogo.jp/jr.ftmi/>  
 デザイン・制作: デザインジムシヨHIROKOB0

♥FUTAMI宣言  
 「SUPER」

## 「キャリア教育」を推進する

第20代校長 木村 孝



4月に着任し、昨年、新校舎の完成によって学習環境が一新されたことと併せ、授業や生徒会活動、そして部活動に真剣に取り組む生徒達の姿を見るにつけ、良い学校になったなあ…と感慨深く思うと共に、校長として与えられた時間を、お世話になった「一見のために活かさねば」と思います。保護者及び地域の皆さま、ご支援よろしくお願ひします。

さて、今、本校では、「キャリア教育」の充実を力を入れていこうとしています。平たく言うと「生きる力」を身につけさせる教育だと思つて下さい。例えば、保護者の皆さんは30年前に現在の日本の状況を予測していたでしょうか。超高齢化社会になるとか、人口減少社会になるとか、経済的な格差が大きく、「二極化」するとか、正規社員と非正規社員の割合が逆転するとか…等々。

私の世代などは、「学生の時にある程度頑張つて勉強しておけば、その知識や技術を使つて生やっけていける。」と漠然と思つていました。ところが実際はどうでしょう。予想をはるかに上回る超スピードで、世の中は変化と進歩を続けています。今、生徒の皆さんが、学んでいくことの多くが、すぐにそのままでは役に立たなくなつてしまう時代なのです。今、世の中にある「仕事」も、その多くが無くなつて、「新しい職業」がどんどん生まれるでしょう。だからこそ常に時代の先を予測し、今何をすべきかという「課題」を見つけ、考え判断し、行動し、社会の変化に柔軟に適応していける力(これが今求められる「生きる力」です)を身につけなくてはならないのです。授業の進め方や学習の方法、そして評価(成績)の基準も変わっていくでしょう。私たち教師も意識を変え、授業力をアップしていかねばなりません。二見のすべての学校園、保護者、地域が一体となり、みんなで時代を切り拓くことのできる「二見つ子」を育てていきましょう。

## 「新たな気持ちで」

教頭 藤井 寿



こんにちは。教頭の藤井です。二見中学校2年目になります。昨年は、校舎竣工・創立70周年記念事業や校区UNIT研究発表会など多くの行事がありました。地域の方々やPTAの皆さんのご協力のもと、無事に行事を終えることができました。感謝するとともに、改めて地域の方々の二見中学校への熱い思いを感じました。本当にありがとうございます。

さて、本年度は新たに木村 孝校長をお迎えし、昨年度までの良いところはそのまま継承し、新たな気持ちで生徒の「学力向上」と学校教育目標である、みんなに「夢・発見・実現」に全力で取り組んでいきたいと思ひます。子どもたちがこれからの社会に出たとき困らないようにするためには、自らの考えを持ち、その考えをわかりやすく伝える能力を身につけなければなりません。新たな「二見中学校」に、温かいご支援ご協力をお願いします。

## ふれあいサポーター！

### 登下校パトロール(指導)の充実のお願い

PTA会長 倉内 敏



保護者の皆様、教職員の皆様、地域の皆様、平素はPTA活動にご理解ご協力頂きますまで誠に有難うございます。

二見中学校の生徒達は、何事にも一生懸命に取り組み、学校生活でのあいさつや立ち居振る舞いは素晴らしいものと誇りに思っております。これも、先生方の熱心な指導とI♡FUTAMI宣言の下、生徒会のリーダーシップや地域の皆様の温かい見守り、生徒一人一人の自覚した行動、また保護者の皆様のご協力のおかげであり、皆様の関わりや日々の積み重ねで今の素晴らしい二見中学校があるのだと心より感謝申し上げます。

しかし、思春期の子ども達を「ガラス細工」「積み木」に例えるように大人達の油断や気のゆるみにより、今の中学校生活が瞬にして壊れてしまいます。そのような事が起こらないよう私たち大人は、皆で協力し、子ども達を見守りそして子ども達の鏡となるよう、今を大切に過ごしていかななくてはならないと思ひます。

終わりになりましたが、子ども達が安心、安全で実りある中学校生活を送れますようふれあいサポーター、登下校パトロール指導の充実にご支援ご協力の程よろしくお願ひ申し上げます。